

## 学 校 紹 介

### 目指せ、「光りみちあふれる」学校

#### 朝日町立あさひ野小学校

あさひ野小学校が目指しているのは、校歌の題名が示すとおり、いつも「光りみちあふれる」学校である。校舎内のオープンスペースや広い廊下に太陽光がいっぱいに注いだとき、心が思わず明るくなってくる。子供たちが毎朝、自ら進んで元気いっぱい「おはようございます。」のあいさつを交わし合うとき、心がぱっと明るくなってくる。また、登校してきた子供たちがグラウンドに飛び出し、目当てに向かって一生懸命走ったり、体育館で思いっきりドッジボールに興じていたりする姿を見ていると学校全体が子供たちのエネルギーに満ちあふれているように思える。このような子供たちの元気な姿も、目指す学校像にぴったりである。

昨年、創立10周年記念行事として運動会やいくつかの記念行事を行った。子供たちが全身で喜びや思いを体いっぱい表現している姿を見て、保護者や地域のみなさんから「子供たちから元気なエネルギーをいっぱいもらいました。ありがとうございました。」と感謝の言葉をたくさんいただいた。まさに「光りみちあふれる」学校を具現化しているようであった。これからも、「光りみちあふれる」あさひ野小学校を目指していきたい。



### 規則正しい生活リズムの定着を目指して

#### 朝日町立五箇庄小学校

本校では、昨年度よりPTAと協力し、「ノーテレビタイム・ノーゲームタイムにチャレンジ」の取り組みを行っている。子供たちは、長時間テレビを見たりゲームをしたりして生活リズムが乱れ、睡眠時間も短くなっている。自分の生活を自分でコントロールできるようにしたい、規則正しい生活習慣の定着を図りたいという思いから実施したものである。

各家庭でチャレンジする日や、コース（子供だけでがんばる子どもコース、親子でがんばる親子コース、家族でがんばる家族コース）、目当て（食事時間はテレビをつけない、テレビは〇時間・ゲームは〇分以内とする等）を決め1ヶ月に1度チャレンジしている。

学校では、チャレンジカードに励ましの言葉を書いたり、目当てのもたせ方の助言をしたりして意欲付けを図っている。子供たちの就寝時刻にも問題があるということで、3学期はチャレンジカードに就寝時刻も書くことにした。そのことにより生活時間に目を向ける子供も出てきた。

子供たちや保護者からは、「テレビ視聴やゲームをする時間を意識するようになった。テレビやゲーム以外の楽しさを見つけた。家族の会話が増えた。」などの声が聞かれるようになってきた。

1ヶ月に1回の取り組みであり、まだまだ生活に定着はしていないが、保護者とアイデアを出し合いながら今後も継続して取り組んでいきたい。